

みなさまから頂いた意見やアイデアを

カテゴリーで整理しました！！

タイムスケジュール

・今回の作業部会では、主に公園の利活用や管理について話し合いました！



2. 運営管理 (利活用) について

(企画・運営・情報発信など)

- ・イベント開催などで、公園を有効活用すればもっと活性化する。里山環境を活かしたイベントや市民を惹きつける魅力ある企画が必要である。
- ・積極的な情報発信は欠かせない。
- ・公園に関わる参加者やボランティアの募集、スタッフの育成等を考えていく必要がある。

4. 管理方針や整備・改修に関わる事について

- ・管理方針については現在の活動実態を加味したエリア分けを考える事も重要である。
- ・菖蒲田やホテルの生育環境作りは、公園の魅力向上に必要なものである。同時に十分なプログラムの検討が必要である。

1. 仕組みづくりについて (組織・利用調整など)

- ・公園施設の利用やイベント開催などは、利用調整ができる場が必要である。
- ・活動団体が交流(コラボレーション)できる場があると、公園の課題や多くの知識を共有できる。それが公園の魅力向上にもつながる。

3. 公園の維持管理について (安全管理・マナー向上ルール作りなど)

- ・子供の遊び場の防犯や衛生面などの安全確保を高めたい。
- ・公園内での不適切利用が目立つ。マナー向上のために声かけできる立場や体制が出来ると良い。
- ・犬の散歩や自転車の乗り入れなど園内のルール作りを徹底する。

5. プロジェクト全般について

- ・プロジェクトは同じ分野ごとでまとめた方が活動しやすいと思う。
- ・全ての活動項目は必要であるため残す。

★平成 29 年 4 月 開園 (予定)

★平成 27~28 年度 利用運営組織の立上げ 公園利用ガイドラインの作成 (予定)

★平成 26 年 10 月以降 (予定) 利活用やルールづくりの検討

★平成 26 年 6 月~10 月頃 (予定) 作業部会において維持管理方針を検討

★平成 26 年 6 月 設計完了報告会 作業部会の立上げ



今はここです！

みんなの意見やアイデアが、ぶろじょくとツリーを育てる肥料になるよ！！

芹沢公園をみんなで育てるぶろじょくとツリー

第 3 回作業部会は、9 月 30 日 (火) の午後を予定しています。
 次回の維持管理方針策定作業部会にもご出席のほどお待ちしております。これまでのワークショップや作業部会でお配りした資料をお持ちください！

問い合わせ先
 座間市役所 都市部
 公園緑政課 緑政係
 電話：046-252-7221
 担当：清 末

芹沢公園育成くらぶ

ニュースレターVol.6

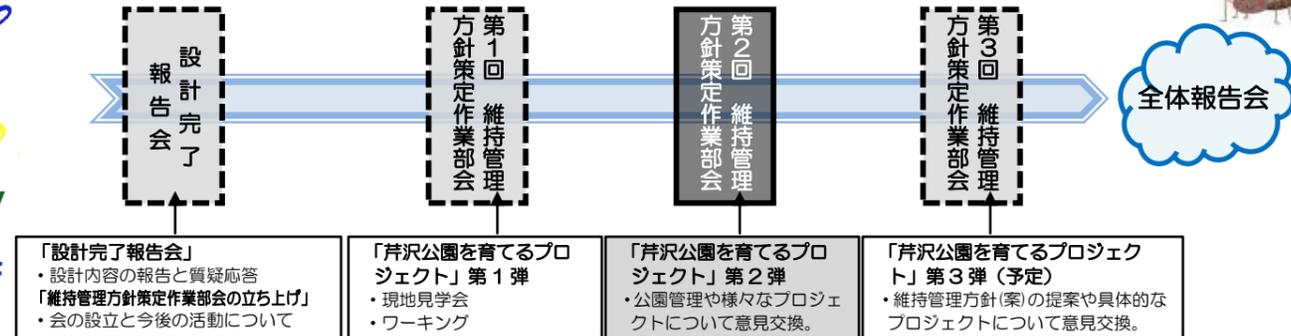
発行：芹沢協働の公園づくり検討会事務局 (公園緑政課)

第 2 回作業部会が、平成 26 年 8 月 27 日 (水) に開催されました。

第 2 回維持管理方針策定作業部会を開催しました！

第 2 回作業部会では、芹沢公園の管理の現状と課題、市の各種制度の紹介、市民協働による公園管理等の事例紹介を行いました。その後、前回の作業部会で頂いたご意見をもとに事務局で整理したプロジェクトマップ案をたたき台にして、芹沢公園の将来に向けた取り組み等を話し合いました。また、次回の作業部会の足掛かりとして、事務局から市民協働による維持管理の役割分担や芹沢公園憲章の策定について提案を行いました。

○今年度の作業部会の流れ



○第 2 回作業部会の内容

受付・はじめの挨拶 公園の管理とは
 市よりはじめの挨拶 矢澤部会長の挨拶
 事例の紹介
 市民協働の管理事例を紹介 芹沢公園管理の説明
 田坂委員による事例紹介
 ワーキング 座談会
 ガリバー図面を囲んでワーキング！
 座談会の様子 ワーキングの様子
 おわりの挨拶
 市よりおわりの挨拶

今回いただいたご意見は中ページに記載しています！



皆さんの意見を見てみよう！

ワーキングでは、皆さんからたくさんのご意見をいただきました！

プロジェクト

① 菖蒲田の復活とホタルを再生する。

○プロジェクト名について

- ・源平プロジェクト
- ・ホタルと菖蒲プロジェクト
- ・菖蒲園再生プロジェクト
- ・湿生生態園プロジェクト

○心配なことについて

- ・土手の整備。
- ・菖蒲田は、まず土作りが大事と思う。花菖蒲は水がいらぬ。
- ・水道整備。
- ・土の入れ替え。
- ・肥料、防虫剤使用の制約。

○やりたいことについて

- ・ホタル水路を作りホタルの復活をはかる。
- ・菖蒲とホタルは切り離すべきと思う。
- ・菖蒲田の復活（水路の切り分け）
- ・水辺は通年水を流しておきたい。
- ・土の改良。

○やらなければならぬこと

- ・菖蒲田の手入れ、管理。
- ・ホタル水路づくりと流れの維持。
- ・カワニナの育成（うまくいってから見極める）。
- ・ホタル幼虫の放流。
- ・水の分配。
- ・子どもの水遊び場からの水の落としどころと、ホタル・カエルのことを考える。

プロジェクト

⑥ 公園の魅力発信する場をつくる。

○プロジェクト名について

- ・PRプロジェクト
- ・芹沢公園情報基地プロジェクト

○心配なことについて

- ・一部団体だけで利用が片寄らないようにする。
- ・これだけの施設をもつ公園が出来てからの管理面はどうなのだろう。

○やりたいことについて

- ・管理棟を情報発信の場として活用したい。
- ・管理棟を芹沢公園の魅力発信の場所とする。
- ・団体の情報提供。
- ・メンバー募集。
- ・ボランティア参加への告知。
- ・管理をしっかりと出来れば魅力は着いてくる。

○やらなければならぬこと

- ・最終的に市民の共感を得られないと成功しないので市民をいかに引き込むかが大事である。
- ・常時2名程度の管理人を置くことを望む。
- ・ルールづくり。

プロジェクト

A. みんなで芹沢川をきれいに維持する。

○やりたいことについて

- ・芹沢川は「ホタル」との関係が深い。地元の方々との話し合いが優先と思う。

プロジェクト

② 子どもの水遊び場をきれいにする。

○プロジェクト名について

- ・水辺プロジェクト
- ・せせらぎプロジェクト
- ・水遊びプロジェクト
- ・水辺プロジェクト

○心配なことについて

- ・アカガエル・ヒキガエルの産卵・幼生の生育地と遊び場の共生。（2～5月）
- ・水量がどうなのか。生息生物と遊び場の利用調整が必要。遊び場の安全面の配慮が必要。
- ・10代後半の若者が池をトイレ代わりに使用。子どもたちが遊んでいるので衛生的に心配。
- ・水の汚れ、子どもの遊び場としての利用は避ける。

○やりたいことについて

- ・おたまじゃくしが、ある日1匹もいなかったことにびっくりした。5月以降にカエルになって上陸していたことが今日分かった。子どもにも分かる説明書きがあると良いし、清掃も生き物に配慮したルールなどを作れば、生物も子どもの水遊びも両立できると思う。

○やらなければならぬこと

- ・季節を分けた利用の調整。
- ・子ども達の安全な水遊び場づくり。（芹沢川上流（通年可）、四阿、せせらぎは6～9月利用）
- ・管理体制の確立。
- ・清掃。

プロジェクト

⑦ 次世代につながる子どもの遊び場をつくる。

○プロジェクト名について

- ・プレイランドプロジェクト
- ・子どもと一緒に遊び場づくりプロジェクト
- ・きらきらプロジェクト

○心配なことについて

- ・子ども自身が受身でなく参加し作りあげていく場所であることが必要。
- ・遊ぶだけで終わりになること。
- ・今の子ども達がどんな遊びを求めているのか、遊園地ではない事を心得てもらわなければならない。
- ・子どもの連れ去りが心配。
- ・高く登る遊具では落下が心配。近くの公園でジャングルジムから落下して救急車を呼んだ話を聞いた。柔らかいゴムのような地面にしたい。

○やりたいことについて

- ・子どもと大人が一緒につくりあげる遊び場。
- ・子どもの発想を活かす遊び場。
- ・防犯カメラの設置。
- ・子どもが歩くのが楽しくなるような仕掛けが欲しい。例えば通路に絵が描いてあったら踏みながら歩くなど楽しいと思う。

○やらなければならぬこと

- ・遊び場づくりのための子ども参加型のプロジェクトづくり。
- ・世代が混じって活動できる場づくり。
- ・市民が自分たちの公園という意識を持ってもらうように導く。
- ・スタッフの育成。

プロジェクト

③ 芝生広場を利用したイベントを催す。

○プロジェクト名について

- ・グラウンドプロジェクト
- ・芝生広場プロジェクト
- ・イベントプロジェクト

○心配なことについて

- ・犬の散歩で糞の始末。
- ・自転車の乗り入れ。
- ・この広場に立つ樹木が数本ある。天下一品である。絶対に刃物を当ててはならない樹であると思う。
- ・芝生広場に行ったことがない人や知らない人もいる。車での道も分かりにくいし自転車やベビーカーでは急坂が厳しいので行くのを控えてしまう。平日は特に人が少ない。

○やりたいことについて

- ・座間で1番の芝生のある公園と誰もが認める所だ。大いに各種のイベントに使われる事は素晴らしい事だ。（パーベキューは不要とすべき）
- ・イベントを開催し芝生広場に一度来て欲しい。
- ・トラックの中を広くして、運動会が出来るようにしたい。
- ・安心して芝生に寝転んだり高齢者が散歩できるようにしたい。
- ・昆虫観察。（芝生広場・谷戸部原っぱ）
- ・芝生広場の利用。
- ・ウォーキング大会・マラソン大会の受付、集合、ゴール。

○やらなければならぬこと

- ・元々は芝生公園であったが現在は雑草広場と化して居る。年に数回の草刈りが求められるところであろう。
- ・栗原神社で放火がありその資金集めに若者がお祭りを企画し実施された。全てがボランティアで共感した。イベント企画のルール作りが望ましい。
- ・徹底した管理。
- ・マナー違反者には注意できる立場を確立する必要がある。

プロジェクト

⑧ 芹沢公園で里山体験を楽しむ。

○プロジェクト名について

- ・里山プロジェクト
- ・里山体験プロジェクト

○心配なことについて

- ・昔の里山は住民の生活と一体となっていたが、現代では里山だけでは市民を惹きつけない。
- ・公園利用と里山は両立するか。

○やりたいことについて

- ・畑作物の植付け。
- ・無理に里山体験と言わなくても花植えや畑作りをしたい人は多くいると思う。近隣の人を対象にすべきではないか。

○やらなければならぬこと

- ・イベントの開催が必要。
- ・収穫祭。
- ・誰がやるにしても、ルール作りが大事ではないか。

プロジェクト

④ 雑木林を維持・再生する。

○プロジェクト名について

- ・雑木プロジェクト
- ・雑木林管理プロジェクト
- ・林間プロジェクト

○心配なことについて

- ・林床植生の保護。
- ・雑木林は、落葉樹を主とする。照葉樹を全部間伐するとすると（特にシラカシ）大変なこと。

○やりたいことについて

- ・間伐の実施。
- ・下草刈りの実施。
- ・特に目立つシラカシを間引くことでかなり明るい森になると思う。

○やらなければならぬこと

- ・里山として管理する場所は A2・B2。（東口駐車場側）
- ・下草刈り。

プロジェクト

⑨ 芹沢公園の自然を楽しむ。

○プロジェクト名について

- ・ふれあいプロジェクト

○心配なことについて

- ・公園内の植物はいっさい持ち出しをさせないというマナーの徹底が出来るか？

○やりたいことについて

- ・プレイパークなど、他団体と上手く活動が噛み合えば、自然観察イベントなどでも協力したい。
- ・林床を明るくし、下草刈りを適宜に行う事により野草は適宜に生育するものである。そして木道などの散策路が出来たら素晴らしい。特に野草園としてのエリアを作る事も望ましい。

その他

- ・いくつかのプロジェクトをエリアやテーマでまとめてはどうか。
- ・プロジェクトの数が多すぎると思う。現実問題として同時に運営していくことは難しいと思う。
- ・公園全体について話し合える機会・場があると良い。
- ・色々な団体の方がいるのでお互いにいい意味で刺激し合って楽しめたらいいと思う。

主にこの4つをテーマに話し合いました！



1. プロジェクト名称（愛称）
2. 心配なこと（経験上の課題等）
3. やりたいこと（改善点や活性化等）
4. やらなければいけないこと（仕組みづくり 利用調整等）

プロジェクト

⑤ 軽スポーツなど運動を楽しむ。

○プロジェクト名について

- ・運動プロジェクト
- ・レクリエーションプロジェクト
- ・ニュースポーツプロジェクト

○心配なことについて

- ・利用者は、子どもが中心となるので危険のないようにする。
- ・種目が多かった場合は、利用調整が必要。
- ・場所の取り合いが起きないように願う。

○やりたいことについて

- ・イベントを紹介する。
- ・スポーツ大会。
- ・各種スポーツ団体の譲合いのルール作り。

○やらなければならぬこと

- ・人を集めること。

プロジェクト

⑩ 将来の芹沢公園の自然環境を考える。

○プロジェクト名について

- ・未来志向プロジェクト
- ・芹沢公園「学び」プロジェクト
- ・公園管理プロジェクト

○心配なことについて

- ・自然のこと、木、植物、鳥、虫など知らないことが多くせつかくの芹沢公園の魅力を一部しか感じられていない。
- ・利用者のルールやマナーの向上。
- ・危険防止策の検討が必要。
- ・高齢者の憩いの場となれば。
- ・芹沢公園の案内パンフレットが必要。（市民がよく知らない）
- ・現在の芹沢公園の自然環境は特に緑が豊かで素晴らしい所と思っている。しかし市民万人の望む公園の利用がされた時、どうなるのかと心配がある。自然環境には当然善し悪しがある。良き自然環境を保つには良き管理体制を維持することに尽きるのではないか。

○やりたいことについて

- ・「学ぶ」機会、「考える」機会、「発信」する機会、公園全体の自然について学び、考える場を共有したい。

○やらなければならぬこと

- ・とにかく知ること。

今回は将来の芹沢公園の利活用の視点から意見交換を頂きました。仕組みづくりや活動団体の交流が公園の魅力向上につながるというご提案もございました。次回は、維持管理方針案として整理していきます！

